

研究方法シラバス 2023

科目名

研究方法

田中千枝子

1 「研究方法」の学びへのご招待

①なぜ本科目を学ぶことが介護教員として必要なのか

対人専門職養成の教育プログラムにおいて「研究・調査方法」は、その専門性の質を担保し、その高さが社会に認められるために重要なものです。養成教育の中で看護師も社会福祉士も該当科目が存在しています。介護福祉士にとっては、自分の実践の専門性の高さを社会に認められ自信をもって業務に携わり続けるためには、介護実践について自ら、またグループで調査し研究する姿勢を学ぶことが必要です。施設職員が自分たちのケア向上のための研究を行い発表するような機会が今後とも増えることが予想されます。そうした業務は、介護福祉士が社会に対してその専門性の高さを証明する方法を身に着ける必要につながります。

介護福祉士等ケアワーカーを養成する教育に、「調査・研究方法」の要素を入れるためには、教員が自ら系統・体験的に「研究・調査方法論」を身に着け研究・調査を繰り返し行うことによって、学生に支援の姿勢や知識や技術の必要性が伝わり、専門的にも社会的にも認められることにつながります。それは教員にとって教育者のみならず研究者としての自己を示すことにつながり、教育者として、現場の重圧で道に迷いがちな学生・卒業生の理想の専門職モデルとなることができると考えます。

②ここで学ぶとどんな良いことがあるのか

従来やってきた現場における（教育指導）業務のレポート報告や事例報告からいったん離れて、「研究」とは何かを考え、「研究テーマや対象としての自らの介護教育や介護実践」をとらえなおすこととなります。

ひとりよがりになりがちな主観的研究観から、「研究」をその客観的説得力のある問題提起から、研究の「問い」づくり、先行研究の把握、研究の目的や内容、調査方法の選択に至る、具体的な研究デザインの作成と論文作成の検討を体験することになります。それによって「研究」と「調査・研究方法」の関係と、研究計画および実施の行程に含まれる意味までを理解できるようになります。

2. 科目担当者紹介及び学生さんへのメッセージ

①受講生へのイメージ

社会福祉の社会人大学院で主に通信による院生指導を行ってきたので、介護教員や介護職員の方の受講もありその方々のイメージがあります。皆さん熱心で論文を書きたいと意欲的であること。かつ教育実践や実績には一定程度の自信があり、レポート作成などの基本は踏まえている。しかし研究やその論文作成には自信がない。研究業績に欠ける方々が多い印象があります。論文と報告書やレポートは異なるものです。どうぞこの機会に研究とは何か、そして研究論文に仕上げるための知識や技術を学べるよう頑張ってください。

②教員の自己紹介

大学院を出てから15年医療ソーシャルワーカーの実践経験を経て、国家資格化した社会福祉専門職の養成のため、大学教員になり30年以上がたちました。同時に研究者として様々な科研費や補助金をもらいながら研究プロジェクトを推進してきました。現在日本福祉大学大

学院社会福祉開発研究所およびスーパービジョン研究センターの研究フェローです。今まで実践家の研究を支援したい思いで修士および博士課程の社会福祉学生の指導を主に行ってきました。大学院での研究指導はもっぱら対面の個別指導で、コロナ禍以降はzoomを使って行ない、近年対面に戻しつつあるところです。一昨年から介護教員研修で「自分で研究調査をやってみる」ことを目的に、個別と集団での演習主体の授業をすべてオンラインで行うようになりましたが、お互いにいろいろ苦労があることを実感しています。

今年度ここでは、いくつかの共通テーマを設定し、小集団での話し合いを中心に、**各自自分自身で質的調査をもとに事例研究を行えるよう**、グループで話し合いながら、また教員との質疑を交えて実施します。前半は各自の実際の**研究計画をたて、計画発表会**を開催します。

後半は**質的調査を実際のデータをとって実施**してみる、**事例研究**になると思いますが、データ収集・分析・結果・結論 に至る 経過と結果をレポートし、**論文形式に準じて発表**することにしたいと思います。

3. 日 程

①9月9日（土）

1 限 導入 オリエンテーション

テキスト1章 研究・調査とは レポートとの違い アンケート調査の曖昧さ

2 限 「問い」を立てる テーマ別グループづくり

テキスト2章「問い」を吟味する

3 限 研究計画書の項目 論文タイトル 研究の背景 目的 対象 方法 を設定

4 限 私の研究計画書の構想披露相談 グループディスカッション 合同で質疑

【課題レポート1】研究計画書 第1稿 投稿

②9月30日（土）

1 限 研究計画書・テーマグループごとの話し合い 発表質疑

2 限 論文解説 量 研究デザインとしての量

3 限 論文解説 質 研究デザインとしての質

4 限 先行研究の当たり方 作業仮説の立て方 倫理的配慮

【課題レポート2】研究計画書 第2稿 投稿

③10月14日（土）

1 限 研究計画発表会

2 限 研究計画発表会

3 限 テキスト3章 個人のストーリーを傾聴する インタビューの企画と実施

4 限 リサーチ・クエスチョンからインタビューガイド作成 インタビュースキル

【課題レポート3】 調査企画および実施プロセス報告

④11月18日（土）

1 限 データ分析の手順と方法

2 限 グループごとに実施経過報告 コメント 質問

3 限 全体報告 質疑

4 限 データ分析結果と考察 結論 に向けて

【課題レポート4】 最終調査レポート データ分析の結果図と記述

⑤12月13日（日）

- 1 限 調査結果報告会
- 2 限 調査結果報告会
- 3 限 調査結果報告会を振り返り
- 4 限 研究方法授業の振り返り

【課題レポート5】 報告会報告書の最終稿提出 研究計画書 + 調査報告書

★学習日程は皆さんの進み具合で変更があります。

4. 授業実施方法

Google classroom での資料提示 レポート提出 Zoom での授業 グループ討議と発表会

5. メイン・テーマ

介護福祉実践や介護福祉教育に関する「研究」と「調査」を学ぶ

6. キーワード

授業終了時に理解している（説明できる・その単語を使って物事を語れる）単語

介護福祉教育 研究・調査計画 研究の「問い」 研究デザイン 調査方法 倫理的配慮

7. 目的

本科目の目的は、研究とは何か、研究の目的・研究方法・調査手法の一部の知識とスキルを身に付け、客観的科学的思考による介護実践を研究することにより学生の教育に生かす。

8. 達成課題

1. 介護福祉領域における教育に関する「研究」や「調査」の意味や意義を説明できる
2. 自分の実践を通して、研究にいたる問題提起・問い（リサーチ・クエスチョン）・研究の目的・意義、先行研究の確認 対象・方法 について、その研究デザインを説明・計画化できる。
3. 代表的な研究（調査）方法を体験的に試行してみる

9. テキスト・参考文献・教材・

- ①テキスト・・・「研究の育て方 ゴールとプロセスの見える化」 近藤克則 医学書院
- ②参考文献・・・「社会福祉・介護福祉のための質的研究法」 田中千枝子 日本福祉大学質的研究会 中央法規出版
- ③教材等・・・介護福祉関連論文（授業にて指定）。

10. その他教材

授業時配布レジメおよび資料がある（ファイル資料コピー禁）

11. 成績評価の方法・採点基準

- ①合計5回の課題レポートの提出
- ②2回の発表会による発表内容および資料